



▶「たち」が入る府中駅南口再開発ビル 間もなくオープン

平成16年第4回定例会

府中市子ども家庭支援センター条例など

14議案を審議

子ども家庭支援センター 愛称「たち」

3月17日(木)
府中駅南口に開設予定

平成16年第4回定例会は、12月6日から21日までの16日間の会期で開催しました。
市長提出議案は、府中市子ども家庭支援センター条例など11件を審議した結果、可決9件、同意2件となりました。
議員提出議案は、ごみを増やすレジ袋の無料配布を止めることを求める意見書など3件を審議し、すべて可決しました。
また、請願1件、陳情5件を審議しました。

人事議案

定例会最終日の本会議に市長から人権擁護委員候補者の推薦の同意を求める議案が提出され、次の方々が同意されました。

和 中 信 男 氏(62歳)
柳 澤 正 三 氏(63歳)

意見書

国・都へ提出

◎ごみを増やすレジ袋の無料配布を止めることを求める意見書

本市では、レジ袋の無料配布を止め、ごみの発生抑制を目指す、マイバッグ運動を進めているが、事業者は、他の地域と比べサービスの低下となることなどを懸念し、レジ袋は思うように減っていない。無料配布の廃止を広い地域で実施する必要があると考える。

本市議会は、都に対し、都が率先して、レジ袋の無料配布を止めることを事業者に提案していくことを要望する。
◎平成17年度地方交付税所要総額確保に関する意見書

平成17年度政府予算編成において、国と地方の信頼関係を構築し、住民サービスの低下を来さないようにすべき

本市議会は、国会及び政府に対し、地方公共団体の財政運営に支障を来すことのないよう、17年度の地方交付税総額は、少なくとも16年度の水準以上を確保することなどの3項目を要望する。
◎新たな「食料・農業・農村基本計画」の策定に関する意見書

政府は、平成17年3月に予定されている新たな農業基本計画の策定に向け、作業を進めている。大消費圏に最も近い食糧生産基地として、また都市環境の保全など東京の農業の果たす役割は、益々重要になっている。

本市議会は、国会及び政府に対し、都をはじめとする三大都市圏の農業振興を同計画の論点に加えるとともに、体系的都市農業政策の構築に向け、本格的な検討を行うことなどの4項目を強く要請する。

市長から「府中市子ども家庭支援センター条例」についての議案が提出され、議会で審議した結果、全会一致で可決されました。
この条例は、子育てに関する相談などを実施することにより、子どもと子育てを行う家庭を支援するため、子ども家庭支援センターを設置し、その管理及び運営について必要な事項を定めるために制定されたものです。
武蔵台1丁目にある「しらとり」に続き、2か所目となる新たな子ども家庭支援センター(愛称「たち」)は、京王線府中駅南口第三地区市街地再開発事業で建設される再開発ビルの3階に位置し、3月17日(木)に開設の予定です。同センターは、相談室、情